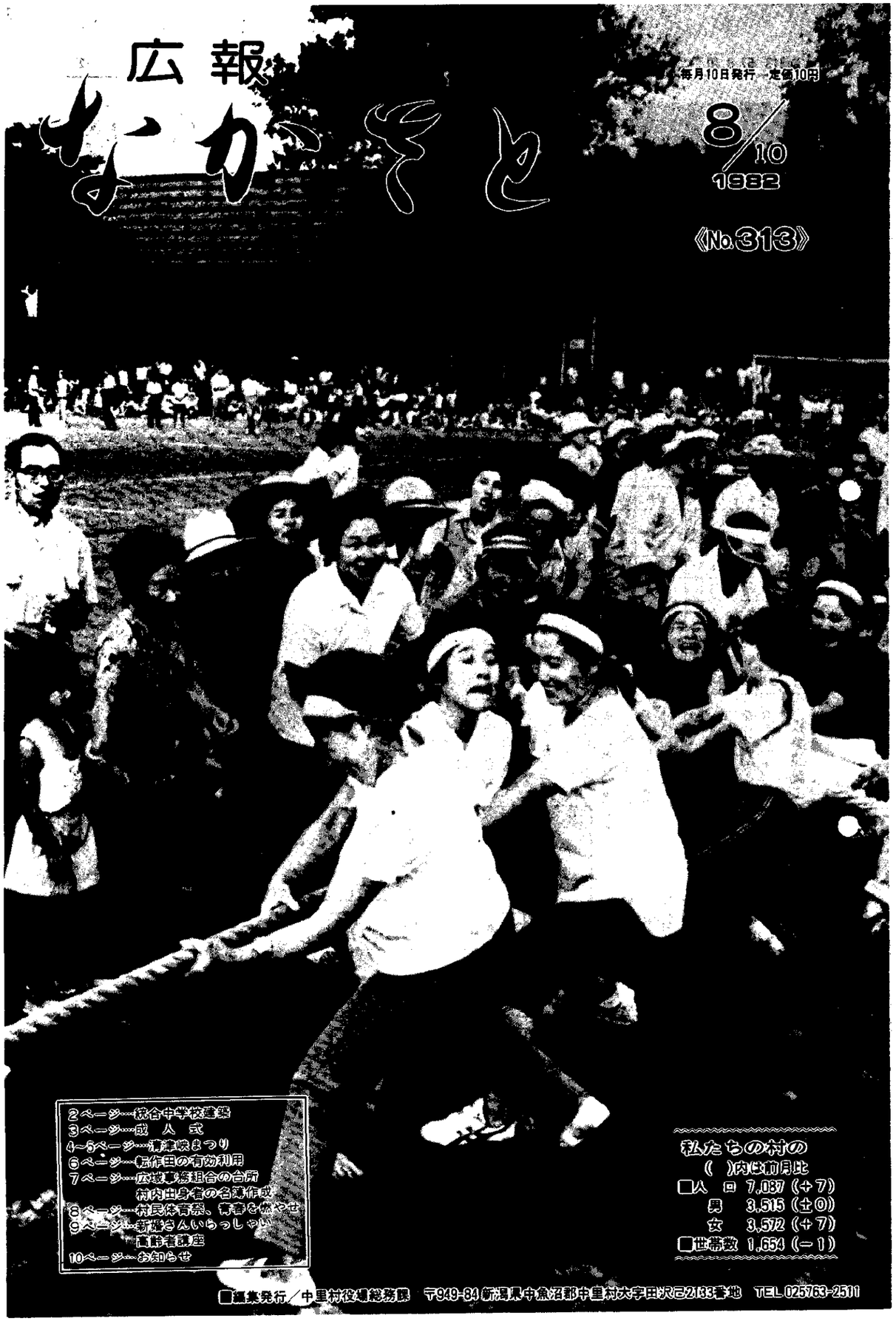


2ページ…祝合中学校遠集
3ページ…成人式
4~5ページ…青津峡まつり
6ページ…転作田の有効利用
7ページ…広域事務組合の合所
村内出身者の名簿作成
8ページ…村民体育祭、青春を燃やせ
9ページ…新婚さんいらっしゃい
高齢者講座
10ページ…お知らせ

私たちの村の
（　）内は前月比
■人　口　7,037（＋7）
男　3,515（±0）
女　3,572（＋7）
■世帯数　1,654（－1）

■編集発行／中里村役場総務課　〒949-84 新潟県中魚沼郡中里村大字田沢ろ2133番地　TEL 025763-2511

医療費をお知らせします

国保係では今年の五月と六月に病院等で受診された世帯へ、医療費のお知らせを八月と九月に行います。これは、年々増えつづける医療費の実態を知っていただくとともに健康のたいせつさを認識していただき、日ごろの健康保持、増進に理解を深めていただくためのものです。

自分の健康は、自分で管理し、元気に毎日を過ごしましょう。

天ぷら油による火災に気をつけて

一般家庭で使用する天ぷら油（〇・五ℓ～一ℓ）を、家庭用ガスコンロで加熱すると、二十分～三十分で発火点の温度に達します。

着火直前には、多量の白煙を発生しますので、その時は火を消して温度を下げてください。

天ぷら鍋を火にかけたときは、絶対にその場を離れてはいけません。どうしても離れなければならないときは、必ず火を消すようにしましょう。

◎天ぷら油の消火方法としては、①濡れたバスタオル・シーツで鍋を覆う方法　②粉末消火器を用いる方法等が良いとされていますが、①の場合は、準備に手間がかかり、②の場合は、途中で消火剤の放出を止めると再着火するなどの欠点がありますので、消火の際は、充分注意をしましょう。

★油の場合は、直接水を入れるとたいへん危険ですので注意してください。

労働組合のない職場に働くみなさんへ

新潟県労働者信用基金協力の保証により労働者の中で次のような人が労働金庫から融資が受けられます。

●勤務先に労働組合がない方
●勤務先に労働組合があっても、その労働組合が労働金庫に加入されていない方
●勤務先の労働組合が労働金庫に加入していても、管理職等のため、労働金庫を利用できない方

〈種　類〉

★住宅ローン
融資金額二千万円以内。返済十年から二十五年以内

★暮らしのローン
融資金額一千万円以内、返済十年から二十五年以内（不動産担保）

★暮らしのローン
融資金額百万円以内、返済五年以内（無担保）

◎詳しくは、労働金庫十日町支店（〇三五二―七―二三〇〇）へお問い合わせください。

住宅金融公庫からのお知らせ

住宅金融公庫では、個人住宅建設資金の申込み受付けを次の要領により行っています。

★受付期間
五十七年七月二十七日～八月二十一日まで

★選考方法
選考（無抽選）により行います。

★資格
○自分が住むための住宅を新築する方で土地の準備ができている方
○一定基準以上の月収のある方

★融資額
木造住宅（八十平方メートル以上）の場合四百八十万円～五百万円、なお、断熱構造工事などの場合は加算あり

★利率　年五・五%

★返済期間　木造の場合二十五年以内

★申込場所「住宅金融公庫取扱店」と表示された金融機関（村内では、中里農協が指定されています）

年金福祉事業団融資借入申込受付け

昭和五十七年度、年金福祉事業融資の第二回目の借入申込受付け期間が決まりましたのでお知らせします。

一、被保険者住宅資金貸付けの一般住宅分に係る借入申込受付け期間

★七月十九日～八月二〇日

二、被保険者住宅資金貸付けのうち、住宅金融公庫への業務を委託して貸付けを行っているもの（併せ貸し分）に係る借入申込受付期間

★七月二十七日～八月三十一日

但し、受付期間中であっても、借入申込額が募集枠に達したときは、締め切られます。

また、年金融資分について借入申込額が融資予定額を越える場合は、抽選により貸付けの決定が行われます。

ゴミ集収の時間を守ろう

最近、ゴミ収集車の回収時間以外にゴミを出す人がいて役場に苦情が来ています。今の時季は、ゴミにハエや蚊がたかり衛生によくありませんので時間をきちんと守りましょう。

〈ゴミを出す時間〉
午前6時～午前8時まで

食中毒にご用心

夏に入って、十日町保健所管内の市町村で、食中毒の原因となるサルモネラ菌が検出されていますので、食品の温度管理、保存期間を守って食中毒を防止しましょう。

食品	最高温度	最長保存期間	備考
鮮魚	20℃	6カ月	
牛乳	5℃	5～7日	瓶または紙容器のまま
バター・チーズ	5℃	6カ月	カルトンのまま、密封
鮮魚	1～2℃	20日	ゆるく包んで
新しい肉片	3℃	6日	ゆるく包んで

人生往来

＊おめでた＊
和恵（上原　修吉）上山
豊（滝沢　勉）田代
麻衣（滝沢　角夫）田代
梢（桑原　正孝）田代
真理子（藤田　真実）小原
加代子（広田　武夫）千溝
勇輝（岡村　悦男）倉俣
幸三（江口　文男）如来寺
智美（藤田　昇）宮中
美久（中嶋　睦）本屋敷
裕也（大口　道雄）重地
雅代（上原　和栄）上山
竜（山田　敦）宮中
まなみ（樋口　進三）通り山

＊おくやみ＊
徳井　シゲ　84　堀之内
竹藤　徳長　74　芋川
服部　利一　62　小原
山田　東吉　78　宮中
樋口　軍蔵　79　荒屋

編集後記

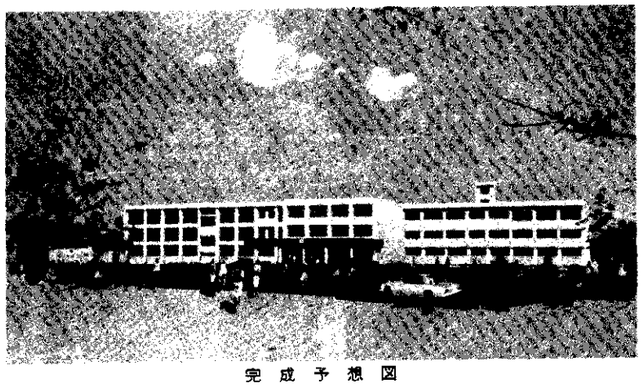
八月二日の二時ころ吹き荒れた台風十号は、住宅一部破損、二十一件をはじめ、農作物（タバコ、トマト、ダイコンなど）や林産物に被害をもたらしました。役場の調べでは被害総額が、九千四十一万八千円に及んでいます。人的被害も一人でました。風の強いときは、外に出ると大変危険ですので注意しましょう。

校舎建築はじまる

統合中学校

去る七月九日、統合中学校用地で統合中学校校舎建築工事の起工式が行われました。

六・三制の学制改革によって昭和二十二年に設置された村内の三中学校が、昭和六十年に中里中学校として新しく生れ変ろうとしています。



完成予想図

ご承知のように、昭和三十年に田沢村と倉俣村が合併し翌年、貝野村が合併して中里村が誕生しました。

しかし、その後、経済の高度成長、都市への人口流出、急激な過疎化現象により、合併当時は、九千八百人余りあった人口も、現在では、七千余人に減少しています。

こうした人口推移の中で中学校の生徒数も左表のように減少しつづけ、教育効果の減退が問題となってきました。

また、三中学校とも戦後まもない時期に建てられた木造校舎で老朽化がすすみ、教育環境が低下してきています。こうしたことから統合問題が慎重に検討され、ようやく実施に移されることになったものです。

教育環境・設備の充実

中学生の年代は、精神的にも身体的にも大きく成長する時であり、義務教育の最も重要な時期といわれています。

二中学校が統合することにより、教育予算を効率的に執行することができ、教育環境や設備の充実を図ることができます。また、統合することにより教職員の組織体制を充実でき、学習指導やクラブ、部活動などが活発になり、教育レベルの向上に期待がもたれます。

当村のような小さな村ほど、村民が一体となって、村づくりをすすめていかなければなりません。そのためにも同じ中学校で学び、生徒のうちから、連帯感を深めていくこともたいせつなことです。

生徒数の推移

○印見込み

年度	田沢(中)	倉俣(中)	貝野(中)	合計
34	302	160	123	585
37	472	158	187	817
42	404	142	90	636
47	272	113	66	451
53	230	63	64	357
55	211	56	65	332
56	214	54	52	320
57	225	52	42	319
58	205	46	27	278
59	198	43	35	276
60	202	40	36	278

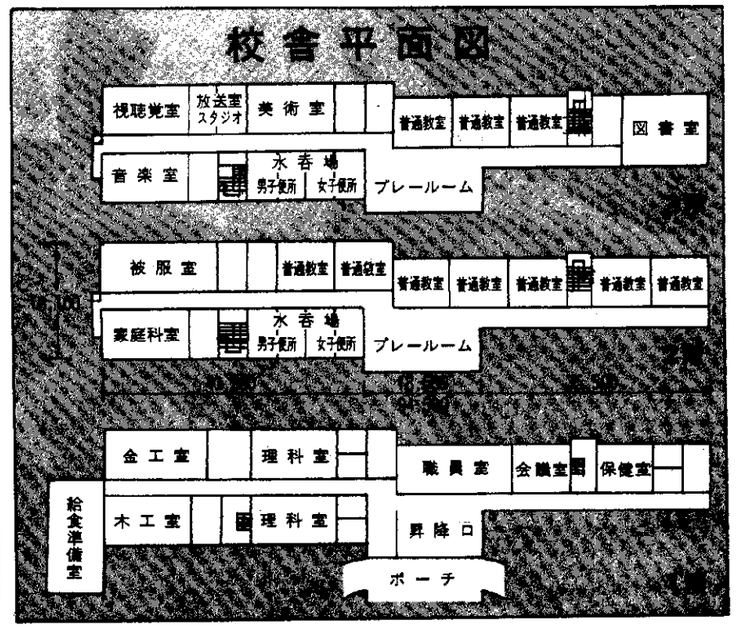
校舎建築工事発注

統合中学校校舎建築の指名競争入札(十社)が去る六月二十二日に行われ、前田建設工業株式会社が落札し、工事請負契約が六月二十四日中里村定例村議会で承認されました。

★工事請負金額　六億四千四百五十万円

★工期　五十七年六月二十五日から五十八年十月三十一日

クワ入れの後



進む建築工事

おめでとう20歳

社会人としてのスタート

記念品贈呈

七月十六日、総合センターで成人式が行われました。

今年、成人を迎えたのは、昭和三十六年四月二日から三十七年四月一日に生まれた人たち百三十四名です。その内当日式に出席されたのは、七十三名です。

式典の前に恒例となっている健康検査(検尿、貧血検査、血圧測定、梅毒検査)が行われました。

式典では、鈴木教育委員長の式辞のあと、上村村長が「成人の日を期として、りっぱな社会人に成長していただき、わが村の発展のためにがんばって下さい。」と若者たちを励ましました。その後、山岸議会副議長の祝辞、記念品の贈呈と続き、最後に成人者を代表して、重地の鈴木博文君が「今日の感激を今後私たちの人生に生かすことを誓います。」と謝辞を述べ、閉式となりました。

式典の後、十日町市教育委員会委員長小林由弘氏の「成人を迎えた皆さんに期待するもの」と題した講演が行われました。

小林氏はその講演の中で「積極的な考え方をすること。にごらない考え方をし、自分自身に正直に生きること。郷土をたいせつにすること。」の三つを成人の人たちにお願いしました。

ジュースで乾杯

私の人生経験

倉俣　岡村新子さん

二十年という節目を迎えて一番痛感したことは、人間関係の難しさです。私は二年間東京で生活をしてきました。住み慣れた中里村を離れ、大都会での生活は、とても厳しく辛いものでした。自分自身がしっかりしていても、時には荒波に流され、くずれてしまう人もいると思います。若い人が一年くらいで都会から帰ってくるのも、それだけ都会の生活が厳しいからではないでしょうか。

私も、今度中里村の一員として生活していくわけですが就職先が見つからず大変困っています。こうした問題に対策をたてていただき、中里村が若者のたくさんいる村になることを望みます。そのためには、私たち若者も精一杯の努力をしたいと思います。

二十歳に思うこと

田中滝沢秀雄さん

「二十歳にもなって、こんな状態でいいのだろうか。」ふとこんな嘆きを洩らしては寂寥を感ずる自分が情けない。友人たちは、着々と自分の人生を築きあげているが、私はまだ、将来の展望すら欠いている。

しかし、私はこの二年半、同世代の若者には経験できないような苦境に立たされてきた。この苦い経験は、私のこれからの人生にプラスになるものと信じている。〝七転び八起き〟と言うように、何度も壁にぶち当たってこそ、自分の人生も深みが出て味わいのあるものになると思う。

私はまだ、人生の目的や意義について述べられるほどの知識も経験もない。だが、競争社会に生きている以上、努力せずに手にはいるものは何一つないのだ。私の人生はスタートしたばかりだ。「いかなる」人生にするかは、これからの努力以外にない。

自分の人生

宮中山田勇さん

自分は、七月十六日の成人式に出て驚きました。友だちのあまりの変わり様に。

友だちはすっかり大人っぽくなったり、落ちつきが出てきているのに、自分は、まだ昔のまま子どもみたいに無邪気に遊んでいる。社会の動きにしても大体の人は分かっていると思う。しかし、自分は全く分からないといってもいい様である。けれど自分は、ひとつの事に熱中できると思う。カッコをつけるようだけれど仕事にしても熱中していると自分では思っている。まして今の会社に入社して三年目になるからそれなりの責任だけはやりとおしたい。

成人式を境にして短所を一つづつなくし、自分の人生だから、人に左右されず、自分の選んだ道をまっすぐ行きたいと思う。

これからの自分を見ていてください。

ママ つかまえたよ、ウンウン うまいうまい

第12回 清津峡まつり'82

気分すっきり、踊りに熱中

みんなで踊ろう清津峡まつり

第十二回清津峡まつりが、去る七月十七日、十八日、清津峡温泉で開催されました。

十七日の夜は、カラス踊り大会、たる酒大会、もちつき大会、花火大会が行われ、おおぜいの人たちでにぎわいました。

この地方特有のカラス踊り大会には、おおぜいの人たちが参加し、大きな踊りの輪が広がりました。

もちつき大会には、村外からの宿泊客の一行が飛び入りし、慣れない腰つきでもちをついていました。

ドドドーン大音響とともに夜空いっぱいに広がる花火の大輪に大きな拍手がわき、渓谷の祭りに花を添えました。

十八日は、ニジマス釣大会ニジマスのつかみどり、たる酒大会、深山市、盆栽市などが行われ終日おおぜいの人が訪れました。

浅瀬に作られたニジマスのつかみどりの会場には、たくさんの子どもたちが集まり、ズボンやパンツまで濡して奮闘していました。

清津川に魅せられて今年で五回目の参加という、塩沢から来た田村さんは「清津川も清津峡まつりもとてもいいですよ」また、サオを片手に六日町の小泉さんも「素朴な祭りでいいですね」と印象を語ってくれました。

人が多くてニジマスも負けそう

おいしいね。おいしいね。

ねばりが出てキネがおもいよ〜

なかなかいいできばえですね

無料ですか？うまいですね

うまそうなフキですね

夏まつりいろいろ

最近、夏まつりにカラオケ大会、芸能大会、民謡流し、子どもみこしなどを行う集落が増えてきました。そのいくつかを紹介します。

◎**手沢**
■八月三十日、カラオケ大会
午後七時半〜　神社境内
■八月三十一日　子どもみこし、午前九時半〜神社境内出発

◎**上山**
■八月三十日　子どもみこし
午前九時半〜神社境内出発
■芸能大会　午後七時半〜
神社境内

◎**倉俣**
■八月十六日　カラオケ大会
午後七時半〜遊園地
■八月二十一日　子どもみこし、午前九時半　神社境内

◎**置地**
■八月十五日　カラオケ大会
午後八時〜　観音様境内
■八月二十日　花火打ち上げ
午後八時〜

◎**千溝**
■八月二十八日　夜店、民謡踊り、午後八時〜神社境内
■八月二十九日　子どもみこし、午前九時半〜神社境内出発

上手に花火を上げよう

夏の夜、夕涼みをかねての花火は、夏の風物詩として風情のあるものです。

しかし、夏の風物詩の花火も中身は火薬です。取扱いを一歩でも誤まると、やけどや人身事故のもとになります。

国民生活センターに寄せられたがん具危害情報の中で一番多いのが花火で、がん具全体の三分の一を占めています。

《取扱い上の注意》

花火の種類に応じて取扱いも異なります。火をつける前に注意書きをよく読むようにしましょう。点火方法も下に置く花火は線香で、手に持つ花火はロウソクで、と区別するほうが安全です。

吹出し、打ち上げなどの筒物花火は、途中で火が消えても、筒の中を絶対にのぞいてはいけません。

そのほか、子どもだけの花火遊びは避けるとともに、水の入ったバケツを必ず用意し火の後始末を確認しましょう。

広域事務組合の台所

十日町地域広域事務組合は十日町市、川西町、津南町、中里村が資金を出し合って、広域的に消防活動、と畜場、総合福祉センター（御陣荘）の各事業を行っています。

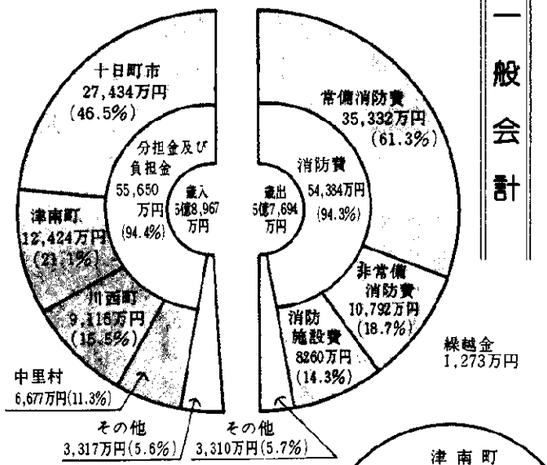
中里村の分担金は、六千六百七十七万円（前年比十八・七%増）となっています。また歳出全体の九四・三%が消防費で占められています。

今回は、昭和五十六年度の決算状況をお知らせいたします。

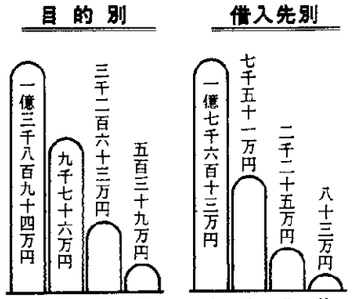
消火活動は俺たちの手で

56年度決算

一般会計



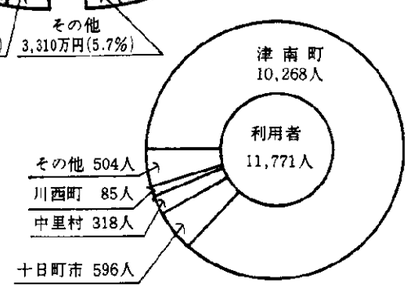
組合債の状況



特別会計 (万円)

会計名	歳入	歳出	差引
総合福祉センター特別会計	2,939	2,730	209
と畜場事業特別会計	3,739	3,098	641
合計	6,678	5,828	850

御陣荘利用状況



名簿作成にご協力を

役場では、村内出身者で県外で活躍されている方々の名簿を作成したいと考えています。この名簿作成の目的は、県外出身者と村との交流を図りいつまでも村を愛していただくとともに、過疎化のすすむわが村に活力を入れるための礎とするものです。

村民の皆さんとともに活力ある村を作りあげたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。

＊尚、調査表は、村政事務嘱託員を通して、すでに配布済ですのでよろしくお願いします。

担当　開発課

水は命です

水資源がわたしたちの暮しに欠かせないたいせつな〝生命の源〟であることは言うまでもありません。

水は、石油のように枯渇してしまうものではなく、大陽の恵みによってたえず地球上をめぐっているものです。しかし、今年は降水量が少なくその上、異常なカラ梅雨に見舞れ村内でも渇水現象がでてきています。

いま、わたしたちは、家庭でどのくらいの水を使っているでしょうか。

昨年度簡易水道使用量は、三十二万二千九百八十立方メートルで、一人一日平均百五十三リットル（一升ビンで八十五本）となります。夏場は、一年のうちでも最も水を使う季節です。いま一度、暮らしの中の水のたいせつさを見直しましょう。

《節水ポイント》

★洗濯は、まとめてしましょう。

★風呂の水を利用しましょう。

★水道の蛇口は、こまめに開閉しましょう。

★水洗トイレの流しすぎをやめましょう。

転作田の有効利用を

みんなで考えよう

今年度も、皆さんのご協力により、村全体として転作目標面積（一一四・二ヘクタール）を達成できる見込みとなりました。未達成集落も昨年より大幅に減り、集落ぐるみの計画加算地区も増える傾向にあります。いつ終るともわからない水田利用再編対策に対応していくためには、転作田の有効利用を考えていかなければなりません。

今回は、村内で転作を実施している作物の中で期待される三品目を紹介します。

転作をめぐる情勢は誠に厳しい状態にあります。協調でつつ、奨励金依存から早期脱却を図る方向が打ち出され五十八年からの第三期対策に向けてさらに厳しい事態が予想されます。

それでは、今後転作奨励金の削減、転作面積の拡大に対応していくためにはどうすればよいのでしょうか。それには、今までのように、条件の悪い田で捨て作りに近いやり方ではいけません。転作田を有効利用し、少しでも多くの収益をあげることを考えていく必要があります。今年から各集落ごとに転作定着化推進協力員を置いて集落ぐるみで転作に取り組んできました。その結果、十五集落で団地化加算がつく見込みとなりました。このように、各集落で話し合いによる転作が実施されてきていることは、大変喜こばしいことです。

村としても、農協、農業改良普及所と連携をとりながら皆さんの要望に積極的に対応していきたいと考えています。

今年も、大豆、ふかみどり、メロン、夏秋トマト、加工トマト、スカシユリ、春まき小麦の試験畑を設け、栽培技術の普及や可能性をさぐっています。

先般、転作定着化推進協力員が視察した南魚沼、北魚沼では、転作田を利用し、メロンやスイカなどの栽培をすすめています。私たちの村も、皆の知恵と努力でこの転作問題を解決していきましょう。

転作状況を拾う

ふかみどりメロン

ふかみどりメロンを転作作物として定着化させようと、倉俣地区の3戸の農家が栽培に取り組んでいます。メロンの需要は盆前がピークになるため、盆前出荷を目指し、10a当り40～45万の粗収入をあげたいとはりきっています。

夏秋トマト

夏秋トマト栽培は、10数年前から倉俣地区で行われています。今年、倉俣地区では、転作田を利用して、2団地の連たん団地で1.35ha栽培しています。昨年から新しく雨よけの施設を取り入れ品質の向上と収益の向上に力を入れています。

大豆

大豆栽培は、村内の転作田の23%に当る29ヘクタールの畑に栽培されています。大豆栽培は、機械作業がしやすく比較的手間がかからないので、上山、如来寺、朴木沢などの水稲組合で計画的に大面積を作付しています。

二十歳と国民年金

わが国では、国民年金に二千八百万人が加入し一千万の人々が、およそ二兆九千億円の年金を受けています。あなたも成人になられて、八つの公的年金制度のどれにも加入していなかったら国民年金に加入しなければなりません。国民年金は、人生のいろいろな事故に備える国の保障制度です。その加入者数では、わが国で最も規模が大きい社会保険であり、社会保障制度の重要な柱です。

老後の生活の支えとなる老齢年金だけでなく、加入して一年経った後に、身体障害者になったとき…障害年金、夫が亡くなったとき…母子年金などがあなたや家族の支えになってくれます。その時になってあわてることなく今から自分のために国民年金に加入し、「年金権は保険料で築くもの」と考えて、保険料の払い忘れのないようにしましょう。

新婚さんいらっしゃい！

豊里 小柳善正さん 良子さん

善正さんが良子さんのお兄さんと同じ会社に勤めていて「おまいた妹を紹介しらっしゃい。」と言ったのが縁で結ばれました。はじめて会った時から「俺の嫁さんには、この人しかいない。」と感じたそうです。善正さんがほれこんだだけあって、良子さんはとてもかわいい七つ年下のお嫁さんです。あまり仲が良いのでたまにはケンカもするでしょうと水を差すと「ケンカなんてしねなあー」。「しないね。よ。」とりつくしまがない。

新婚旅行は「海の向こうの方。とっても良かったぜの。」と、もう目じりが下りっぱなし。赤ちゃんは、目下育児中とのことで「豊里の山の中で走り回らせ、たくましく育てたい。」お互いに要望することはないけれど「タバコの吸い過ぎに気をつけて欲しい。」善正さんの健康を気づかう気持ちがいじらしい。

郷ひろみタイプが理想だったと話す良子さんも、善正さんの心の温かさにまいってしまったとが。

高齢化社会へ向けて

高齢者講座

七月二十七日総合センターで高齢者講座の一環として、新潟日報社論説委員大矢良広氏による「時事問題を語る」と題した講演会が行われました。

大矢氏は講演の中で「今、世界中が不況に見舞われている。失業者がアメリカで約一千万人、EC諸国（欧州共同体）で約一千万人もいると言われている。

こうした状況の中でも、日本は比較的住みやすい状況にある。しかしこれも、ものすごい赤字国債（国の借金）によって支えられている。国民一人あたりの金額にすると七十万円にも及んでいる状態である。

一方、人口の高齢化が急速にすすみ、六十五歳以上の老人が一千万人に達している。老後の生活は、医療と年金が経済的な柱となっているが、負担の公平を図っていかなければならない。

これからの時代は、自分でできることは自分でしていくことがたいせつであるとともに、人情や心の豊かさをたいせつにしていかなければならない。」と話されました。

七十一名のお年寄りたちは身近な問題と解かりやすい話しに熱心に耳を傾けていました。

熱心に耳を傾けるお年寄たち

楽しかった思い出

都市子ども会交歓会

七月二十八日、二十九日、群市子ども会交歓会が清田山自然運動公園で開かれました。

始めに遊歩道を利用したウオークラリーが行われ参加した子どもたち八十六名は、汗だくになりながら遊歩道をかけ巡りました。

その後、テント設営、キャンプファイヤーの説明が行われたあと楽しい楽しい夕食の準備班とキャンプファイヤー班、テント張り班に分かれ準備をすすめ、ようやく五時半、おいしいカレーライスを食べました。大なべに三つも作ったカレーが足りなくなるほどの食欲ぶりでした。

うまくとげるかなあー

古代を探る

壬遺跡発掘調査

今年で四回目の壬遺跡の発堀調査が、国学院大学助教授小林達雄氏を団長に四十五名の考古学専攻の大学生の手で七月二十四日～三十一日まで行われました。

この遺跡は約一万年前の縄文時代の草創期のものと目されています。

今までに、石鏃（やじり）土器、石斧（おの）が発見された他に、とても珍らしい円孔文土器（口縁部に小さな穴がある）や矢柄研磨器が発見されていました。昨年、その下の最下層に無紋土器が発見されたため、今回の調査が行われました。

ひたいに汗して古代を堀る

稲の管理

夏は短かい予報です

八月に入り稲の出穂を迎えます。この時期に暑りや雨が続くと倒伏や穂いもちが多発しやすくなります。また、高温が続くと稲体機能低下や老化がすすみやすくなりますので次のことに注意しましょう。

一、出穂前後は深水かん水をし、その後はこきざみな間断かんがいや走り水かんがいを繰り返し、落水期（出穂後二十五日くらい）が近づくにつれて落水日数を多くしてください。

二、カメムシ類（斑点米）の多発しやすい条件が続いていますので、草刈りを早めに行い薬剤散布を十分に行ってください。

みんなのひろば

おもしろい行事などがありましたら教えてください。

＊行・事・予・定＊

※変更することがあります。
・御用の際は担当課で確認を。

11(水)	村民体力テスト（貝野仲体育館19:30～）
12(木)	村民体力テスト（倉俣仲体育館19:30～）
13(金)	心配ごと相談日（老人センター）
14(土)	
15(日)	休日救急医（山口医院 02575-5-2003） 終戦記念日
16(月)	
17(火)	婦人リーダー養成講座 （点字・総合センター13:30～）
18(水)	
19(木)	年金相談所開設（老人センター9:30～15:00） 村民体力テスト（田沢仲体育館19:30～）
20(金)	母親学級（保健センター8:30～9:00） 若い母親学級（折り紙19:00～） 妊婦検診（上村病院13:30～14:00） 農地関係許可申請〆切 心配ごと相談日（老人センター）
21(土)	
22(日)	休日救急医（千手診療所 02576-8-2034）
23(月)	処　暑
24(火)	
25(水)	
26(木)	
27(金)	心配ごと、行政相談日（老人センター）
28(土)	
29(日)	休日救急医（水沢診療所 02575-8-2039） 三社みこしがやってきます
30(月)	胃集団検診（日程は個人通知）
31(火)	胃集団検診（日程は個人通知）
1(水)	胃集団検診（日程は個人通知） 防災の日　関東大震災記念日
2(木)	胃集団検診（日程は個人通知）
3(金)	胃集団検診（日程は個人通知） 心配ごと相談日（老人センター）
4(土)	
5(日)	休日救急医（上村病院 2111）
6(月)	胃集団検診（日程は個人通知）
7(火)	胃集団検診（日程は個人通知）
8(水)	
9(木)	
10(金)	農業者年金、農地相談日（役場農政課） 心配ごと相談日（老人センター）

第一チームが優勝

村民体育祭

七月十八日、田沢小中学校グランドで第六回村民体育祭が行われました。前日からのぐずつき模様の天気も、参加者たちの気持ちが通じたように晴れわたり、終日楽しい体育祭が繰り広げられました。今年は各集落の区長さんと体育協会などの協力のおかげでおおぜいの（約五百人）参加者がありました。

小中学生たちは、日ごろ鍛えた健脚を競いあい、観客から大きな声援を受けました。

お年寄りたちも、昔とったきねずかで若者に負けないハッスルぶりでした。

紅白玉入れでは、少しでも多く玉を入れようと終了の合図も聞こえず注意される一幕もありました。また、百足レースでは、ハチマキに風船を結んだ若いママさんチームの意気の合った走りは、他の追随を許しませんでした。最後の種目、村民大リレーは、とても見ごたえがありました。

成績は、第一チーム（芋沢田沢、東田沢、桂、如来寺、豊里）が優勝し、つづいて第二位、第二チーム（上山、田中、小原）第三位、第五チーム（倉俣地区）となりました。

来年もおおぜいの参加で、地域の連帯を深めましょう。

あっ、もうだめー

村民大リレーすごい迫力

青春も燃やせ

汗を流そう

高道山 阿部 等さん

阿部さんは、高校卒業後桔梗原土地改良区に勤務しています。「仕事は、とてもやりがいがあります。水路工事などが完成したとき、皆が喜こんでいる姿を見ているととてもうれしいですね。」高校の時はサッカーをやっていたという阿部さんがバスケットをはじめて「今年で七年目です。部員の中で私が一番若いんですよ。（当年二十四歳）もっと欲しいです。」バスケットボールの目標は「来年こそは県大会へ行きたい。」

スポーツ活動の魅力は「なんといっても、仲間とともに汗を流しながら走り回ることですよ。その後の生ビールはもう、最高ですね。」

スポーツ活動が活発にならないのは「中里村に勤め先がないからじゃないですか。」と話してくれました。

若い人からどんどん入ってもらいたいですね。」

村に望むことは「中学校の体育館も老朽化してきて、ボールのはずみが違うところがあるんですよ。村民体育館がバスケット・スキー・テニスとスポーツ抜群な阿部等さんを紹介します。

案内板

浅草三社まつりがやってくる。

東京浅草の三社まつりのみこしがこの夏、上山、山崎まつりに合せて、二百人のかつぎ手と百人の観光客とともに中里村へやってきます。

この計画の発端は、商工会が地元の振興を図るために開いた講演会の講師に来られた下町タイムス社社長今泉清氏の提案で、商工会の青年部の有志が東京錦糸町カッパ祭りに参加したことです。

六月二十九日に、中里村浅草三社まつりを呼ぶ会が結成され会長に桑原久丸さん、実行委員長には貝沢洋次さんが選ばれました。委員長の貝沢さんは「東京の過密都市台東区と中里村の交流のきっかけとしたい。」とハリキッています。

停電のお知らせ

8月25日(水)午後1時～5時
田中の一部、桂、小原、千溝。

表紙写真

第6回村民体育祭のつな引きの場面です。